

令和5年 第10回教育委員会（会議録）

令和5年10月18日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

**日程第1 開会**

**出席委員確認**

教育長 三品芳則

教育委員 古田博英

教育委員 兼松 悟

教育委員 原口かおり

教育委員会事務局 教育課長 堀部芳章

教育委員会事務局 こども課長 岩井正義

教育委員会事務局 教育課主幹 若泉貴弘

（欠席）教育委員 金武千秋

※教育長が開会を宣言する。

**日程第2 前回教育委員会の確認**

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

**日程第3 教育長、教育委員報告事項**

教育長

9月26日、八百津町立和知小学校の公表会があり、参観させていただきました。どの学年も、学習規律が身に付いていて、子どもたちが担任とともに、その授業の課題に向かって取り組んでいました。坂祝町の子どもたちと比べながら見ておりましたが、どちらももう少し子どもたち同士の自由な交流があるといいと思いました。9月下旬から10月上旬にかかえて、坂祝中学校の体育大会、坂祝幼稚園、坂祝小学校の運動会がございました。教育委員の皆様にも見ていただきましたが、園児児童生徒たちは、ほんとに精一杯力を発揮して、楽しく活動をしていたのが印象的でした。また、後ほど感想などをお聞かせいただけるとありがたいです。10月6日、可茂地区地教連の研修視察がありました。白川村の白川郷学園を視察して参りました。義務教育学校を立ち上げ、当初は4・3・2年という教育課程を編成しておりましたが、6・3年という教育課程に戻したということを知って参りました。白川村には中一ギャップが存在しないこと。それから、学習指導要領の区分がどうしても6年・3年と分かれていること、へき地の学校ということから、転入職員及び転出職員がおおよそ3年で交代をする。そうすると中学校に来た職員は概ね1年生から3年生まで担任を順番に行いで自分の地元へ戻るというような流れの転出入があることから、4・3・2年という教育課程では少し実態とあっていないことがあり、6・3年に戻したという経緯があります。これも坂祝町にも参考になるのかなと思いました。10月13日、坂祝町学校の将来のあり方検討委員会のメンバーで土岐市立濃南小中学校に

視察に行つて参りました。教育委員会も同行させていただきました。土岐市立濃南小中学校は、児童生徒数が合計で121名、小学校で86名、中学校で35名ほど、以前は曾木小学校と鶴里小学校という小学校が2校あったのですが、ある学年で、児童が1人だけになってしまい、子どもの少子化、減少に苦しんでおりました、保護者の側から統合してほしいという願いが出て、曾木小学校と、鶴里小学校を統合したということがありました。それが行われたのが平成27年で、南濃小学校と南濃中学校に併設をした形で、新しく建設されました。建設当初は、まだ小中一貫校とか、そういった制度を利用したわけではありませんでした。坂祝小中学校のような一小一中でございました。そのような形で開校をしました。当初は一貫校ではございませんでしたが、小中の連携を模索しながら、教育活動を展開していました。その後、令和2年、校長1名、副校長1名、教頭2名の小中一貫校としてスタートしました。小中一貫校としての枠組み、義務教育学校としての枠組み、そのようなことだけではなく、創意工夫のある校長先生の学校経営の教育ビジョン、子どもたちのどのような学び方が良いのか、どのような教育が良いのか、そこが1番肝心で、今回学んだのは、校長先生の学校経営の手腕を学びました。職員の姿も、小中の先生方が一体となっているのが印象的でした。このことは、また10月24日、第3回の坂祝町将来の学校のあり方検討委員会が開催されますので、そこで交流がなされるかと思ひます。坂祝にとってどのような教育課程が良いのかをまた考えていきます。10月15日、スポーツレクリエーションフェスティバルが昨年度に続き、第2回目が開催されました、今年は昨年以上の賑わいを見せてくれて、子どもも大人も楽しんでいました。一つとても関心をしたことがあり、ゴミの分別意識がとても高いことです。キッチンカーが設置されておりましたので、いろいろな食べ物のゴミが出るのですが、ポテトの大きな箱を重ねて置いて捨てる姿が印象的でした。また、ある女の子は「ペットボトルはどこに捨てたらいいですか。」と尋ねて分別をして捨てておりました。

原口教育委員 体育祭、運動会に参加をさせていただきありがとうございました。小学校は予定が重なってしまい、参加できませんでしたが、幼稚園には参加をさせていただきました。幼稚園の園児は立っているだけではほえましく感じられました。中学校の子たちは、体も大きくて一生懸命取り組んでいるのが印象的でした。その時も思ったのですが、今、私の会社にも可児工業高校の子がインターンで来ておりますが、自分の意見が素直に言える子、間違っても正しくてもいいですが、まずは自分の意見が言える子が印象としては、とても良くて、中学校の体育大会の時も審判の采配で揉めているようなところもありましたが、私の頃だと心にしまっておいて、なかなか言えなかったのですが、先生にまでは言えなかったです。今の子は、そのようなもやもやとしたところを友達と共有しながら先生に相談をして、そして先生方もそれに対して真摯に対応し、先生全員で確認をして共通理解をして一丸となって取り組んでいるところが素晴らしいなと思ひ感心をしました。白川郷

の研修ありがとうございました。一番感じたのは、義務教育学校に行くまでに、それまでに小中一貫校がありましたという話を聞かせていただいて、長いスパンで取り込まれていることがわかりました。坂祝小中学校においても、そういった道筋を追っていくのがいいのかなあと思いました。白川郷学園で羨ましいのは校舎の間取りです。以前、坂祝幼稚園が新築する時も羨ましかったです。教室から一度に集まれるフリーなスペースがあるのが教育現場にはあるといいなあとということを思いました。校舎の間取りも大事だということが感じました。私の友人に中国から来ている子がいます。今、中学の進学率、大学に入るものは40%ですが、それ以外の子の行き先や就職先、進学先がないということで海外への流出が止まらないと聞きました。大学の年齢で動いては遅いということで、中国では15歳を卒業した時点で、海外に進学するということがあるということを知りました。そう思うと、日本は恵まれているなあとということを思いました。

古田教育委員 私にとっては、昨日の中日新聞の記事が印象的でして、四日市の児童相談所に、一時保護された中学生のお子さん2人がいて、廊下みたいなところで騒いでいて、それを指導している先生の指導がなかなか受け入れられないということで、もう1人の先生が入ってきて一定のやりとりはあったかと思うのですが、最後に怒鳴って、その怒鳴ったことが心理的虐待であるということで、新聞に取り上げられていました。怒鳴っただけではなくて顔を近づけたと言うことで、身体的な虐待もあったということで、頭をくっつけてはいけないと思いますけれど、恐怖を与えたということで確かに虐待かもしれないと思いますが、ときには、大人の怒りというか、恐怖と言うのは、一つの教育のような気がしていて、今の子どもたち年々幼くなっていて、相手の気持ちとか様子とかを読み取る能力が低下しているような気がします。その一方で、いろんな情報に接するため、「証拠もないのに、なぜ疑うのか。」という、そのような考えだけは知っている。そのような子たちを相手になんとかしようと言うのは、論じて良い方向へもっていくというのは、相当な技術と忍耐とその人の人間力がないと本当に難しいと思いました。今のように教員の競争力が下がっていると更に難しいと思います。何もかもが叱ってよいとは思いませんし、体罰はいけないと思いますが、時にはこうして感情をぶつけるということ、子どもは学ぶことがあるのではないかと思います。その先生には少し同情的なふうで思い記事を読まさせていただきました。そこにどのようなやりとりがあったかどうかそこまでは新聞見るだけでは分かりませんが、それを虐待というふう一言で簡単に報道されてしまうと、仕事へのやる気をなくすのではないかと思います。

兼松教育委員 まず、母の葬儀に大変ご心配をいただきありがとうございました。3期目に入りますが、この年になっても教育に関われるということは、本当に幸せだと思います。また、今後ともよろしく願いいたします。最初に小中一貫校の報告がありましたが、縦割り活動とか、の給食当番をチームでとか、教

育長も言いましたが、校長先生の理念とおっしゃられましたか坂祝町にもランチルームとか良い施設がありました。教育委員会は、そういった理念の継続性と政治的中立性が重んじられるので、やはり施設を作ったら、校長先生が代わったら変わってはいけませんので、そういうことには一言言うべきことがあると思いましたしたが、坂祝町でも校長が代わったら変わるというのではなく、継続性をもってやってもらえると良いのではないかと思います。継続性をもたせるには、やはり教育委員会の監視と言うのは大切だということを思いました。運動会を見させていただきました。幼稚園の運動会は華やかで、競技の工夫があつて良かったと思いました。少ない職員でよくやってくさると思いました。小学校の運動会ですが、赤白の2団から3団に分かれました。こういったものの評価はまた聞いてみたいと思います。私自身、古い人間だと思いますが、徒競走とか学年リレーというものはあつたのですが、リズム体操に非常に教科が置かれていて、確かにリズム体操は教科体育の1つですけれども、僕は運動会と言うのは教科体育の延長だと思っていました。運動会というのはどういうものかと疑問思っていましたら、ちょうど、そんなような思いをもっていた時に、中日新聞のよい記事がありましたので、説明させていただきます。運動会の始まりは親睦だったという記事です。コミュニケーションを取るために運動会で集まってやるというのが始まりでした。運動が苦手でも、楽しく体を動かすことができるコミュニケーションが始まりでした。今後の運動会と言うのは、子ども同士がコミュニケーションを図り、考えていくということが大事だということが考えられます。先生だけの運動会ではなく、子どもたちも関わっていく運動会ということが、今後、考えられると記事ではまとめて書いてあります。まさに小学校はよい運動会をやってくさっていると思いました。また、運動会というのはお祭りだったということも記事に書かれていました。坂祝町も町民運動会というのがありました。やはりコミュニティーが崩れているというのはあると思いました。どこかでお祭りをしなければいけないのかと思いました。前回、堀部課長から給食の委託事業者の現状について詳しくお話をいただきましてありがとうございました。

#### 日程第4 議事

(報告事件)

報告第32号 坂祝中学校の休業日の変更届出について

※教育課主幹が資料に基づいて報告をする。

報告第33号 坂祝小学校の校外学習届出について

※教育課主幹が資料に基づいて報告をする。

報告第34号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

兼松教育委員 参加者は他の地域からも来るのですか。

教育課長 昨年もそうでしたが、広く美濃加茂や近隣市町村からも来られます。

- 兼松教育委員 坂祝は美しいところがたくさんあるので、たくさんの方に見てもらえるとありがたいです。
- 古田教育委員 私は賛成ですが、ネットで調べてみてもトレイルランは迷惑だと感じていると方がいるといるようですが、昨年、開催してみて坂祝の場合はそういったことはありましたか。
- 教育課長 坂祝の場合はそういったことは聞いておりません。
- 古田教育委員 注意事項に、恐怖心を与えないように書いてありますが、何が怖いのかなと一度佐藤さんに聞いてみたいと思います。
- 教育長 私も山登りをするのでよくわかりますが、歩いている時に、急に向こうから走ってきます。トレイルランなので、登山道を走るのが基本なので15kmあっても、たぶん2時間もかからずにきてしまうので、たぶんそういうことです。私も、興味があってこれはリバーウォークで川の岩場も歩くことができ楽しそうだと思います。先日、佐藤さんに応募の集まり具合はどうか聞いたところ、もう50名集まっていると聞きました。11月は坂祝だけではなく、全国的にトレイルランの大会をやっているのも三重県伊賀市忍者トレイルラン等大きな大会があり、そこに入れなかった方がこちらに来たりするので、よかったら皆さんもどうぞ。

## 日程第5 その他

- 当面する教育関係諸行事について
- その他

## 日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前10時20分